

線形代数 3 演習

2017 年度第 1 quarter

担当: Sakaé Fuchino (瀧野 昌)

May 25, 2017

次の課題を解いてレポートとしてまとめたものを、6月1日の講義の始まる前に教卓の上に提出してください。レポートは返却しないので、回答は自分用のコピーをとっておくようにしてください。

1. $n = 1, 2, 3, \dots$ に対し, $\mathbb{R}[x]_n$ で実係数の (変数 x に関する) 多項式で次数が n 以下のものの全体をあらわすことにする.

- (1) $\mathbb{R}[x]_n$ は多項式の通常の足し算や定数倍に関して, ベクトル空間になること示せ.
- (2) $n \leq m$ のとき $\mathbb{R}[x]_n$ は $\mathbb{R}[x]_m$ の部分空間となることを示せ.
- (3) $1, x, x^2, \dots, x^n$ は, $\mathbb{R}[x]_n$ の基底となることを示せ.
- (4) $\dim(\mathbb{R}[x]_n)$ を求めよ.

2. $\mathbf{a}, \mathbf{b} \in \mathbb{R}^3$ を $\{\mathbf{a}, \mathbf{b}\}$ が独立であるようなものとする. A を 3×2 -行列 $[\mathbf{a} \ \mathbf{b}]$ とする. 線型写像 φ_A を講義でと同様に $\varphi_A: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^3; \mathbf{x} \mapsto A\mathbf{x}$ として定義する. このとき,

- (1) φ_A は 1 対 1 であることを示せ.
- (2) $\text{Im}(\varphi_A)$ と $\text{Ker}(\varphi_A)$ の次元を求めよ.
- (3) ある $\mathbf{b} \in \mathbb{R}^3$ に対し, 方程式 $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$ に解があるなら, 解は一意に決まることを示せ.
- (4) \mathbb{R}^3 のベクトル \mathbf{b} で $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$ に解が存在しないようなものが存在することを示せ.

3.

$\mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} a_{1,1} \\ \vdots \\ a_{m,1} \end{bmatrix}, \dots, \mathbf{a}_n = \begin{bmatrix} a_{1,n} \\ \vdots \\ a_{m,n} \end{bmatrix}$ として, $A = [\mathbf{a}_1 \cdots \mathbf{a}_n]$ とし, $\mathbf{c} = \begin{bmatrix} c_1 \\ \vdots \\ c_n \end{bmatrix}$ とする. このとき,

$A\mathbf{c} = c_1\mathbf{a}_1 + \cdots + c_n\mathbf{a}_n$ となることを示せ. (ヒント: 各 $1 \leq i \leq n$ に対し左辺の i 成分と, 右辺の i 成分が等しいことを示せばよい.)

4.

$$\mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{bmatrix}, \mathbf{a}_2 = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{bmatrix}, \mathbf{a}_3 = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \end{bmatrix}, \mathbf{a}_4 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{bmatrix}, \mathbf{a}_5 = \begin{bmatrix} -1 \\ -1 \\ 0 \end{bmatrix}$$

とするとき, ベクトルの組 $\{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2\}, \{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_5\}, \{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3\}, \{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_4\}, \{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_5\}, \{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5\}$ のうち, 線型独立なものはどれか, これらの組のうち \mathbb{R}^3 の基底となっているものはどれか?

5. 以下の写像 φ_i のうちどれが線型写像かを答えよ. その理由も述べよ. φ_i が線型写像のときには $\varphi_{A_i} = \varphi_i$ となるような行列 A_i を求めよ.

(a) $\varphi_1: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2; \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} \mapsto \begin{bmatrix} x+1 \\ y+1 \end{bmatrix}$ (b) $\varphi_2: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2; \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} \mapsto \begin{bmatrix} x+y \\ x-y \end{bmatrix}$

(c) $\varphi_3: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2; \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} \mapsto \begin{bmatrix} x \sin \theta \\ y \cos \theta \end{bmatrix}$ (d) $\varphi_4: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^3; \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} \mapsto \begin{bmatrix} x \\ y \\ 1 \end{bmatrix}$

(e) $\varphi_5: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^3; \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} \mapsto \begin{bmatrix} y \\ 0 \\ x \end{bmatrix}$ (f) $\varphi_6: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^4; \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} \mapsto \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}$

(g) $\varphi_7: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}^2; x \mapsto \begin{bmatrix} x \\ x^2 \end{bmatrix}$